

3議題(3)令和7年度佐世保市・佐々町地域公共交通計画の事業評価について

地域公共交通計画の目標到達状況について

種別		指 標	目 標	指標設定時	令和7年度の状況	目標値 (令和11年度)
全体的な目標		分 担 率	バス・鉄道分担率維持	(R2年度) バス10.8% 鉄道3.7%	—	バス10.8% 鉄道3.7%
標準指標による目標		利 用 者 数	輸送人キロ維持	1.59人/キロ	1.79人/キロ	1.59人/キロ
		交 通 事 業 収 支	当期純利益向上	±0	1.1	プラス(%)
		公 的 資 金	適切な公的資金	—	事業実施に必要な支援を行うことができた。	—
基本方針に基づく目標	ネットワーク	利 用 者 数	輸送人キロ維持	1.59人/キロ	1.79人/キロ	1.59人/キロ
	モード連携	分 担 率	バス・鉄道分担率維持	(R2年度) バス10.8% 鉄道3.7%	—	バス10.8% 鉄道3.7%
	交通経営環境	バス運転士採用数	運転士確保	±0	△15人/年	3人/年
	利便増進	利 用 者 数	輸送人キロ維持	1.59人/キロ	1.79人/キロ	1.59人/キロ

佐世保市・佐々町地域公共交通計画の評価等結果(令和7年4月～令和8年3月)

	目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組
1	「乗合バス路線における実車走行キロあたり利用者数」を維持させる R6年度 1.59人/キロ ➡ R11年度 1.59人/キロ	・「基幹交通」を担うバスネットワーク再編による効率化・ICカードを活用したサービスの充実 ・「補完交通」となるフィーダーサービスの充実 ・需給バランスを適正化する観点からのバスサービスの見直し ・交通結節点の整備 ・バスロケーションシステムの利用促進 ・低床車両等の導入促進	交通事業者からの提供データにより確認	・R7年度 1.79人/キロ ・輸送人員が増加したことにより、目標を達成することができた。	・「佐世保市・佐々町地域公共交通計画」における基本方針に従い、引き続き広域交通・基幹交通・補完交通を担うバス・鉄道の路線維持に努める。
2	「乗合バス事業の収支率(経常収益÷経常費用、補助金を除く)」を改善する R6年度 当期純利益 ±0 ➡ R11年度 プラス(%)	・「基幹交通」を担うバスネットワーク再編による効率化・ICカードを活用したサービスの充実 ・「補完交通」となるフィーダーサービスの充実 ・需給バランスを適正化する観点からのバスサービスの見直し ・運転士不足への対応、労働環境の改善 ・アセット有効活用による結節点整備・財務改善	交通事業者からの提供データにより確認	・R7年度 収支率 1.1%(プラス) ・運送コストは増加しているものの、R6運賃改定(バス・鉄道)により運送収入が増加したことにより、収支率が改善し、目標を達成することができた。	・「佐世保市・佐々町地域公共交通計画」における基本方針に従い、引き続き広域交通・基幹交通・補完交通を担うバス・鉄道の路線維持に努める。
3	計画に基づく事業を行うための公的資金の投入に関する適切性について評価を行う。	・地域公共交通計画の推進に取り組む交通事業者に対する市・町による財政的支援を行う。	佐世保市・佐々町データにより確認	・事業実施に必要な支援を行うことができた。	・「佐世保市・佐々町地域公共交通計画」における基本方針に従い、引き続き適切な公的資金を投入することにより、広域交通・基幹交通・補完交通を担うバス・鉄道の路線の維持に努める。
4	「通勤・通学における公共交通(鉄道・バス等)の利用率(分担率)を維持・増加させる R2年度 バス10.8% ➡ R11年度 バス10.8% 鉄道 3.7% 鉄道 3.7% (R2国勢調査)	・「基幹交通」を担うバスネットワーク再編による効率化・ICカードを活用したサービスの充実 ・「補完交通」となるフィーダーサービスの充実 ・需給バランスを適正化する観点からのバスサービスの見直し ・交通結節点の整備 ・バスロケーションシステムの利用促進 ・低床車両等の導入促進	国勢調査の統計データにより確認	・R7年度 バス10.8% 鉄道3.7% ・10年ごとの国勢調査の指標であり、R2年度の数値が計画期間内における実績額となる。 ※次回調査がR12年度のため、計画最終年度に同指標算定のための調査を実施予定。	・同指標については、「佐世保市・佐々町地域公共交通計画」における計画目標としており、引き続き公共交通の利用維持に努める。
5	バス運転士数(採用数－退職者数＝純増数)を維持させる。 R6年度±0人/年 ➡ R11年度 3人/年	・官民連携による運転士確保の取組の推進 ・ダイヤの見直しや路線再編による需要に見合ったサービス供給への適正化 ・運転士確保に向けた交通事業者の取組に対する行政支援	交通事業者からの提供データにより確認	・一定の新規採用数はあるものの、退職者数が採用数を上回ったため、バス運転士数がマイナスとなり目標を達成できなかった。 ・R7年度 (A)新規採用数11名 (B)退職者数26名 (A)－(B)＝△15名 ※人数は西肥自動車(株)とさせぼバス(株)の合計	・「佐世保市・佐々町地域公共交通計画」における基本方針に従い、引き続きバス運転士確保及び経営改善に資する取組による路線の維持に努める。

3 議題(3) 令和7年度佐世保市・佐々町地域公共交通計画の事業評価について

佐世保市・佐々町地域公共交通計画の実施状況について

佐世保市・佐々町地域公共交通計画実施事業

施策		R7年度 実施状況	
実施内容			
1. 持続可能な公共交通ネットワークの形成			
路線再編	①	「基幹交通」を担うバスネットワーク再編による効率化・ICカードを活用したサービスの充実	・大野地区・早岐地区の分割運行について検討開始（市・バス事業者）
	②	「補完交通」となるフィーダーサービスの充実	・大野地区・早岐地区の分割運行について検討開始（市・バス事業者）
需給調整	③	需給バランスを適正化する観点からのバスサービスの見直し	・大野地区・早岐地区の分割運行について検討開始（市・バス事業者）
結節点整備	④	新たな車両転回・乗務員休憩施設の設置	①路線再編の進捗により事業着手
生活交通再構築	⑤	多様なモードによる「生活交通」の充実	・R7年度5地区への区域運行型予約制乗合タクシー導入（市、地域、タクシー事業者） （烏帽子・弓張・宮・針尾・中里皆瀬）
	⑥	地域資源を活用した新たな移送サービス等の検討	・R7 黒島における公共ライドシェア導入に向けた実証運行の実施（市） ・R7 国の「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクトを活用したモビリティ人材育成事業の実施（市）
2. 交通モード連携による移動円滑化			
乗継利便性向上	⑦	鉄道とバスの乗換・乗継利便性の向上	①路線再編の進捗により事業着手
交通モード連携	⑧	航路と離島内交通手段の接続、離島交通の利便性向上	・R7 黒島における公共ライドシェア導入に向けた実証運行の実施（市）
	⑨	パークアンドライド施設の整備・充実	関係事業者との協議を検討中
3. 持続可能な地域公共交通環境の実現			
運転士確保	⑩	運転士不足への対応、労働環境の改善	各交通事業者による運転士確保の取組（県内高校への就職説明、自衛隊訪問、免許取得費助成） 特定技能制度を活用した外国人運転士の確保についての検討 ・バス運転士確保にかかる運転士養成費への助成（市）
交通資源活用	⑪	アセット有効活用による結節点整備・財務改善	交通資産に関する調査を開始（市）
交通施策研究	⑫	地域公共交通事業を継続的に支える制度の研究	国・県への情報収集等（市） ・「エリア一括運行」制度にかかる調査・視察（長野県松本市）
4. 利用者の利用性向上・利用促進			
案内充実	⑬	佐世保駅前におけるわかりやすい情報提供等の推進	関係事業者との協議を検討中
	⑭	バスロケーションシステムの利用促進	・長寿社会課や商業高校との連携による西肥バスナビの使用法解説資料・解説動画作成 ・R7スマートバス停導入 1基（市内累計24基）【西肥バス】
施設改善	⑮	低床車両や低燃費車両等の導入促進	・R7年度 低床車両4台導入【西肥バス】
	⑯	バス停の乗り降りしやすい環境の整備	関係事業者との協議を検討中